

令和4年度 英語学習実施状況について

金沢市立大野町小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和5年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	35.0	25.0	30.0	10.0	0
問2	英語の勉強は大切だ。	55.0	30.0	15.0	0.0	0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に 役立っている。	45.0	40.0	15.0	0.0	0
問4	英語の授業の内容が分かる。	65.0	30.0	5.0	0.0	0
問5	先生や友達に英語で質問することができ る。	5.0	60.0	35.0	0.0	0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えるこ とができる。	15.0	60.0	25.0	0.0	0
問7	アルファベットの大きい文字が書ける。	85.0	10.0	0.0	5.0	0
問8	アルファベットの小さい文字が書ける。	80.0	15.0	5.0	0.0	0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語 や英文を書き写すことができる。	65.0	20.0	15.0	0.0	0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	25.0	60.0	15.0	0.0	0

②指導改善の具体策

- ・英語インストラクターと学級担任とのやりとりを工夫し、聞き取れた単語を頼りに話の大体を理解する。
- ・基本表現の練習の仕方を工夫し、自信を持って発表できるようにする。

③学校関係者評価

・指導要領では、「聞くこと」「話す(会話する)こと」「話す(発表する)こと」を中心に進めることになっています。しかし、金沢市独自の英語教育では「読むこと」「書くこと」が加わり児童にとって英語を楽しむ上で障害になる要素が入れられています。小学校の英語教育では、「指導要領の内容を基盤としながらも、中学校での英語科への期待が高まるような内容」で実施できればと思います。指導要領の趣旨をふまえた学習内容とアンケート項目を意識することにより、「中学校での英語学習に期待感を高めることのできる学習」に繋がっていくのではないのでしょうか。

・児童が英語に興味を持っていることは大変良いことだと考えます。英語で質問することや英語で答えることを難しく思っていることは良く理解できます。授業だけでなく日常の中で英語を使う機会を増やしていくことが大切だと考えます。

・アンケート結果では、大半の児童が読み書きについて理解できると回答している反面、会話についてはやや苦手との傾向が見られます。近年、校下の街中においても、外国人の姿が見受けられるようになり、子供達の実践的な英会話を身に付け、外国の方と交流できるようになれば素晴らしいことだと思います。

・英語の勉強が好きになれるというのは、実際に英語で質問できたり、答えることに対して不安を持っているからだと思います。簡単ではありませんが、文法や音が多少間違っても気にせず、英語をしゃべれる雰囲気をつくり、間違いを恐れない授業環境がとても大切だと感じました。

・「英語の勉強が好き」60%、「英語の勉強は大切」85%はすごいです。これからの子供達は英語が大切とのことはよく分かっていますね。この中から世界へ出る子がいるかもしれない。頑張ってもらいたいです。

・英語の勉強は大切だと思う子が大半だが、好きだと思っている子が少ないのが気になる。授業内容の理解度が高いのは評価できる。書く力はあがるが、読んだり話すことに自信を持ってできると思う子が少ない。家庭での英語詞の音楽を聴いたり、アニメや映画などでも同様に親子で取り組むことも必要かと思う。

・英語の勉強は大切だとわかっているが、好きな子は60%とまだ低い。直接の会話などもっともっと力を入れるようにしてほしい。

・英語の必要性をみんな感じているけど、実際に話す自信はない感じがしました。でも小学校から英語に取り組み始めて子供にとって良い環境だと思います。授業の内容を理解している子が多いので、将来楽しみだと思います。

・日常生活においてこれからは英語教育の重要性が更に増してきます。ヒアリング力をつける為にネイティブ英語が抵抗なく自然に聞き取れる環境整備を希望します。